

平成28年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立落合東小学校		
学校長氏名	宅見 政子	栄養教諭氏名	児玉 有子
職員数	40名	児童数	455名

1. 学校における食育の現状

継続した食指導により食に対する関心は高まりつつあり、給食の残食率は主食0.7ポイント、副食0.2ポイント、広島市の平均を下回っている。児童への指導や家庭への啓発を継続して、毎朝朝食をとる児童の割合が93.7%になった。今年度は、更なる朝食を食べる割合を増やし、児童への指導が各家庭に届くような工夫を継続して行う。

2. 学校の食育に係る目標(成果指標・目標値)

給食の残食率の減少(主食・副食ともに0.1ポイントの減少)と朝食をとる児童の割合を1ポイント増やす。

3. 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】 家庭地域と連携し、児童の体験を通じた食育 ～落合東小学校オリジナル給食～

「Myおむすびの日」

① 6年生がオリジナルメニューを考える

[言語・数理運用科の学習で地場産物を活用したメニュー]

② 給食委員会がメニューの説明と

Myおむすびの準備を呼びかける



③食育だより・H.Pで

(酔心の玉ちゃん先生の食育(だし)授業も生かし栄養バランスを考えてレシピ作成)

Myおむすびの日のお知らせをする。

③ 児童みんなが自分だけのMyおむすびをむすぶ



④ 業務の先生が地場産物を運搬給食室でおいしく調理



Myおむすび
飲むヨーグルト
ばっちりあげ
三しょく野菜のわんぱくあえ
キラキラ汁 みかん

2年生は特別活動でMyおむすびを考え12月6日に実際にむすんできた。

⑤ レシピはJA元気市通信に掲載され新聞折込で広く地域に配布された。



【取組2】 教師のアイデアを生かした児童の活動を通じた食育

① 毎日の給食放送

② 食缶を空っぽにしようキャンペーン

- ・1週間クラスの食缶の残りを調べ、食缶が空っぽだったクラスは放送で発表される。(大もり券がもらえる)



③ 食の1分アピール(年3回)



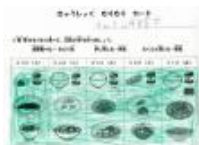
- ・6月 すききらいしないでたべよう
- ・11月12月 Myおむすびをもってこよう!
- ・1月 感謝して食べよう

④ 給食週間の児童朝会「食育劇」

- ・「給食当番の正しいみじたくと当番活動」



⑤ きゅうしょく「もりもりカード」



- ・給食週間に個人カードで残さず食べた日を記録する。

4. 「ひろしま100万食プロジェクト」の取組について

- ・広島市の共同献立として全校で実施。
- ・食育だよりで地域や各家庭へ知らせ、調理についても協力を呼びかけた。
- ・食数調査実施。



5. 取組に対する成果と課題

【成果】

「Myおむすびの日」は三回目を迎え、児童の中では6年生になったらMyおむすびの日のメニューを考える、また、自分でおむすびをむすんで持っていく日があると定着しつつある。家庭でもおむすびの日が話題になったり兄弟姉妹・親子で楽しくむすんだり、休日には家族にむすんだり家族が具合の悪いときにむすんだりという家庭が増えてきた。家庭からは回数を増やしてもよいという好評の声もあり、好評且つ協力を得られている。

炊飯からむすぶところまですべて児童一人が行ったという家庭は、昨年1.5%から今年3.0%と確実に延びている。レシピについては、新聞広告と共にJA元気市通信に掲載され、地域に広く知られた。

委員会など児童の縦割りの交流を活用した結果、教員の負担感なく給食の残食率も確実に減少傾向にある。

【課題】

朝食を食べる児童の割合は2.2ポイント増加している。今後は、朝食の内容についてより充実するような手だてをえる。給食の残食率についても減少傾向であるが一人一人の食べ方、食の選択の仕方が充実するよう個別対応などきめ細かな対応について検討していく。

6. 今後の取組に向けた改善方策について

朝食については、家庭地域が関心を持ち、朝食内容について充実するような指導や啓発を工夫する。

給食指導については、マナーや偏食指導など個別の対応に加え、委員会活動の中で児童の目線での啓発を展開できるよう考える。栄養教諭による専門性を生かした食指導も継続して行っていく。